

【めむろ未来ミーティング】

令和4年6月17日(金)

11:00～11:48

祥栄環境保全組合

■参加者 33人

■芽室町 町長、佐藤都市経営課長、齋藤都市経営係長、我妻農林課長、藤村農林環境係長、次田土地改良係長

■記録 松田

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 意見交換

●防風林の配置について

【会長】

耕地防風林については、3年ほど前から調査を開始している。防風林になるには、植栽してから10年～15年と年月がかかるものであり、また地権者との協議にもかなりの時間を要するものと思われる。しかし、将来を見据えて早めの対策が必要と考えている。近年はGPSの普及等、様々な状況が変化し、防風林についてはそれぞれの考え方があると思うが、必要・不要含めて、それぞれの考えをこの場で発言してほしい。

【意見】

スイートコーンや麦の圃場においても風害被害は大きい。個人的には耕地防風林には賛成である。

【意見】

町に土地買収する考えはないということで正しいか。

【町長】

10線防風林のような「防風帯」としての造成は断念せざるを得ない。防風林は、2列のうち伐期がきたものを更新するなど制約があるが、効果は1列でもあるとされる。町としては防風林を推奨していきたいというスタンスであるが、土地所有者との丁寧な協議を進めていきたいと考えている。町として土地買収は行わないが、地域ときちんと協議をした中で、必要な補助・支援というものは考えていきたい。

【意見】

植林後の維持管理は地権者となるのか。

【町長】

そのとおりである。個人で植えた防風林を町の管理とはならないことはご理解願いたい。

【意見】

いま示されている造成箇所に含まれていないが、清水町との町境部分を追加してもらうことはできないか。

【農林課長】

いまお示しているのは、あくまでも調査結果を落とし込んだ机上の案となっている。今後は、地域のみなさんの声を聞きながら、制度設計をしていくことになる。

【意見】

畑のみでなく、冬の通勤、通学の障害となる雪の吹き溜まりは、交通障害の影響もある。道道東瓜幕芽室線の祥栄北6線から北7線間は特にひどく、防雪柵のかさ上げなどの改良が必要。ただし、かさ上げすることで、畑に雪がたまる事態も生じてしまう。何か対策をお願いしたい。

【町長】

取付道路など防雪柵の隙間から吹き込むなど現場の状況は分かっているつもりである。奥に家がないので、冬期間は通行をストップさせるのも一つの手段である。道とも協議していきたい。

【意見】

維持管理の部分で、いまは処分にもお金が必要である。防風林となると、それなりの量の枝が出る。ストックヤード等があればよいと思う。

【町長】

維持管理していくうえで、枝の処分等は重要ポイントだと思っている。町でストックヤードを作るところまでの考えはないが、町として処分に係る必要な支援は検討していかなければと考えている。また、SDGS 社会のなかで、排出される枝木は貴重なエネルギー源であるという見方もできる。再生エネルギーの活用としても検討していきたい。

【意見】

植栽はかなりの労力を要する作業である。作業自体を森林組合に委託し、その費用の補助をしてもらえば、かなりの負担が減るので、地権者の賛同も得やすいのではないかな。

【農林課長】

この河北地区をモデル地区にして、まずは進めていく考えである。最初のスタートとして、初期経費は町負担としていく考えである。いま話にあった人的負担についても、検討はしていきたい。防風林は、3軒の地権者がいれば、3軒を横並びで進めていかなければ目的が達成できないため、地権者と丁寧な協議を進めながら、河北モデル地区から全町へと広げていきたいと考えている。

●旧学校用地等の土地利用について

【意見】

建物を解体してただ更地にするのではなく、ここに小学校や中学校があったという地域の歴史を残すための、なにかシンボルを残してほしいと思う。また、更地にした後も、地域住民が車を停めて集まれる場所を残してほしいという思いもある。解体後の土地利用に関しては、町が勝手に決めてこうなりましたという報告ではなく、必ずその使いみちについ

ての相談を事前に地域と行ってほしい。

【町長】

この土地は、高速インターに近いという立地、また広大な敷地面積があり、非常に魅力ある場所と考えている。町には、実際に20以上の企業から相談を受けているが、おそらくそういった企業も関心を示す場所であると思う。ただ、業種にもよるが、そういった企業が入った場合の環境変化や影響といったものは少なからず生じるので、地域の考えというもの的大事になってくる。

【意見】

解体となると、一度に一体的な解体は可能なのか。

【都市経営課長】

まずはどこまで解体するのか、木もどこまで伐採するのかの整理が必要である。雄馬別地区では、一度で5棟の解体を1,000万円程度で実施した。この地区は規模的に、2回に分けてというのが現実的と思われる。

【意見】

具体的に解体は何年後なのか。いつになれば予算がつくのか。いま分かる範囲で教えてほしい。

【都市経営課長】

まずは、地域として本当に解体でよいのか、その辺の意思の確認が大前提である。地域の意思が明確であれば、来年度でも予算は計上していきたい考えではある。

【意見】

地域としては解体することに異論はない。それに基づき進めてほしい。

【都市経営課長】

今後、具体的なスケジュール等を調整したうえで、また地域協議を行いたい。

（11：48終了）

【ミーティングの様子】

